

第45期モットー「お客さまに喜んでいただけるプロになろう！」Ⅲ
－5分前・前準備・後始末－

「幸せを願って」

NO.223

H25. 2. 10

(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 寒く冷たい日々が続きます。インフルエンザが流行っていますので、予防と体調管理に気をつけてください。

この2月から3月に掛けては、企業も個人の生活も新年度に向けて大きな環境変化を迎える時期です。特に子どもたちにとっては、進級・進学・卒業・就職と未知の世界への不安と新しい出発(たびだち)への期待に揺れ動く時です。毎年大きく変わって行く環境の中で、着実に成長していく子どもたちに、期待を込めて拍手を送ります。

育児の心得は、「乳児は肌離さずに、幼児は手を離さずに、少年は目を離さずに、青年は心を離さずに」(参議院議員・山谷えり子氏)とのことですが、なかなか親の思うようには育ってくれません。子は、親の言う通りにはならず、親がする通りに育つそうなので、結局は親がまず先に学び手本を示さなければなりません。親の後姿をじっと見ているのです。子の成長と幸せを祈り願い、親も自分にできることを精一杯やるしかないのでしょうか。親の生き様が子に反映するのです。

子どもたちは、両親、家族の限りない未来の希望ですが、同時に、私たちの地域、国家、地球全体の未来でもあるのです。その未来に対し、深い愛情をもち、社会が一体となって、温かく、時には厳しく見守り育てていくのです。子どもたちは社会の宝であり、私たちの未来ですので、社会を構成する大人である私たち一人ひとりの生き方が大切になってきます。私たち大人には、未来を守り育てる責任があるのです。大人が問題から逃げたり、お金儲けだけに走ったり、弱い者いじめをしたり、法律を守らなければ・・・子どもたちは当然真似をします。特に身近な親の生き方が、一番大切だと思います。

さて、企業も年度替りの大事な時期を迎えています。今年は特に、ダスキン本社が創業 50 周年を迎え、ダスキンファミリーとして全国一斉に、謝恩キャンペーンやお礼返しイベントが行われます。また、ダスキン新居浜支店では 45 周年を迎えますが、お客さまや社外向けには 50 周年として本部政策を推進し、社内向けには 45 周年の

企画として記念旅行(一泊または日帰り)や食事会を行います。改めて詳しくご案内をしますのでお楽しみにしておいてください。

スケジュールとしては、2/16(土)RS 営業会議にて来期の経営方針概略を説明、18・19・20(月・火・水)で RS の個人面談、22(金)には、ハーティさん春期政策勉強会(新ブロック及びグループ体制説明)。3/8(金)店内経営方針発表会、15(金)期首全体会・たんぽぽパーティ。社内 45 周年イベントとしては、4/12(金)すわらじ公演・愛の輪タイム、7/5(金)日帰りバス旅行、9/7.8(土.日)一泊旅行、13(金)食事会、と続きます。

企業も大きく変わって行きます。企業や組織は何の為に存在するのか？佐藤芳直先生は、「人間が成長するために存在する」と明確に言い切ります。考えてみると、多くの人は学校を卒業して定年までの 40 年ほど仕事をします。公平に与えられた一日 24 時間の内、睡眠に 8 時間、残りの 16 時間の半分 8 時間を私的な趣味や生活に使い、8 時間は仕事に費やします。すなわち主な人生の半分は、会社で働く仕事の時間となるのです。人生の半分の時間を使う「仕事」が愉しくなれば、人生が愉しく有意義なものとなり、苦しい辛いものであったとしたら自分の人生はつまらなく寂しいものとなります。仕事をどう前向きに捉えるかで、自分の人生の豊かさに変化が起るのです。

ここが大事なポイントです。仕事は人を成長させてくれます。苦手なこと、新しいことにも、挑戦させてくれます。仕事だと逃げられないことが多くあります。失敗をし、頭を打ちながら学んでいくのです。仕事が一番自分を鍛えてくれるのです。自分の気持ち次第で、自分の人生がどんどん変わっていくのです。仕事をイヤイヤ仕方なくするのではなく、前向きに自分のプラスになるよう積極的に取り組んでみましょう。いくつになっても、自分の勉強・学びであり、素直にチャレンジするのです。本気になれば、周りの人もそっと応援してくれます。

玉置育子先生に教えていただいたビジネスマナーで己を磨きあげ、素敵な人になりましょう。魅力的な人をめざしましょう。日本一のダスキンのお店づくりを目標に、皆さんの力を借りながら私も全国を視野に頑張ります。ダスキんに育ててもらったこの人生の集大成として、ご恩返しを、ご奉公を、自分の人生の総仕上げとして精一杯やります。どうか宜しく願います。

合掌